

TOPIC 02 温室ハウス払い下げのため 天草市新和育苗施設を 廃止

内容

天草市新和育苗施設は、花き農家の育成と産地化を図るため平成6年に供用開始されたもので、平成14年度まで使用されており、平成22年度からは合宿誘致設備のスポート施設として利用されていた。

しかし、近年は利用実績がない状況であったため、地元農業関係者から温室ハウスの利用について相談があり、温室ハウスの構造材について払い下げを行うため条例を廃止しました。

質疑内容

● 払い下げを行う価格は。
○ 施設の残存価格から解体費用を引いた額で払い下げを行うが、耐用年数を過ぎており解体費用を差し引くとマイナスとなることから、払い下げ価格は0円になる。
● 温室ハウスを現在の場所で使用



▲払い下げを行う温室ハウス

用する場合の賃借料と賃借期間は。
○ 現在の場所は市の土地であるため、年間1万円程度の賃借料が必要であり、期間については特に設けず1年更新の契約としたい。

● 払い下げを行う条件は。
○ 公売の入札において、農業用の施設として使用するという条件を付す。

TOPIC 03 人権擁護委員の 人事案件3件に同意

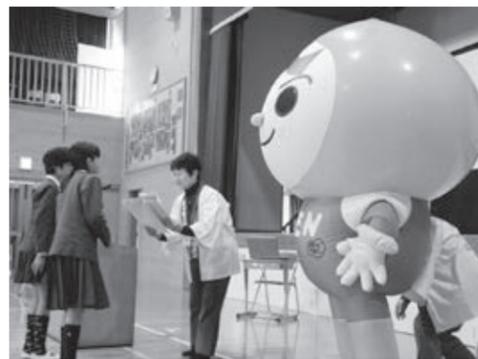
内容

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める議案3件が提出され、原案どおり同意しました。

人権擁護委員とは

活動内容は、法務局と連携し、地域のみなさんから人権相談を受け、解決に向けた支援や、人権侵害の被害者救済、市民のみなさんに人権に関する意識を高めてもらうための街頭啓発活動、管内施設や保育園、小学校、企業などを訪問し実施する人権研修です。啓発活動の取り組みの中には、

委員名	氏名	住所	新任・再任
人権擁護委員	貴田 英広	御所浦町	新任
人権擁護委員	靄濱つづき	栖本町	再任
人権擁護委員	松崎 高	天草町	新任



▲倉岳小学校での人権の花運動

花を育てることにより「命の大切さ」「相手を思いやる心」を育てることを目的として、毎年度小学校を1校選定し実施する『人権の花運動』や、中学生を対象にした『全国人権作文コンテスト』の選定があります。また、子どもたちから『子どもの人権SOSミニレター』で届けられた手紙に応じ、寄り添い、子どもたちの声を救済に結び付ける活動もあります。

TOPIC 04 保育士嘱託員など 非常勤職員の 報酬額を見直し

固定資産評価審査委員会委員、介護保険要介護認定訪問調査員、幼稚園補助教員、保育士嘱託員について、他市の状況や本市の実情に合わせ報酬額の見直しを行いました。また、公務災害補償等審査会委員の区分を追加し報酬額の見直しを行いました。

区分	改定前の報酬	改定後の報酬
固定資産評価審査委員会委員	日額 6,000円	日額 10,000円
介護保険要介護認定訪問調査員	月額 139,100円	月額 143,200円
幼稚園補助教員	月額 133,000円	月額 133,800円
保育士嘱託員	月額 133,000円	月額 133,800円
公務災害補償等審査会委員	日額 6,000円	日額 10,000円

TOPIC 05 平成30年4月からの 天草本渡斎場の 指定管理者を指定

指定管理を行う施設

施設名 天草市営天草本渡斎場
所在地 天草市本町下河内
種類 火葬場

指定管理の概要

指定管理者名 有限会社光正社
指定管理期間 平成30年4月1日
〜平成33年3月31日(3年間)
指定管理料 4,259万3千円
(3年間)



▲天草本渡斎場

TOPIC 議会改革 みつばちラジオで 議会の傍聴を呼びかけ

天草市議会では議会改革の一環として広報広聴の充実に取り組んでおり、これまでは主に議会だよりやホームページで情報発信を行ってきました。しかし、より多くの市民の皆さんに議会を身近に感じていただくためには、多様な手段の活用が有



▲ラジオ出演のようす(右端が濱洲委員長)

効であることから、今回は開局間もない「あまくさシティエフエム」もない「あまくさシティエフエム」みつばちラジオに濱洲広報広聴委員長が出演し、議会のPRと傍聴の呼びかけを行いました。天草市議会では、今後も同ラジオをおとして、様々な情報発信を行ってまいります。

みつばちラジオとは

みつばちラジオは、昨年12月3日に開局したあまくさシティエフエムの愛称で、エフエムラジオの88・8MHzのほか、スマホやタブレット、パソコンでも聴くことができます。

同ラジオの番組では、天草の観光情報やお天気、季節の話題、市役所からのお知らせなど、地域に密着した情報が市内全域に放送されるほか、災害などの非常時には臨時災害放送局として迅速に情報を伝えることができます。